

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

木の持つ美しさと強度を増し生かすためBP材とTKS構法を創案し、日本初となる国土交通省認定を取得し事業展開を図っているが、今後さらにSDGsの趣旨を事業に導入することで、我が国の気候風土に合った木材を幅広い分野で活用・拡大を図り、国産材の比率を高め、木の循環による山村の活性化、国土保全、人の健康、生活に優しい木造建築新時代をリードする企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	国産材の利用率の向上(BP材、TKS構法のさらなる普及)	国産材の利用率 2023年90%→2026年95%
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	木材の活用分野の拡充(国土保全、防災等:砂防、治山事業での活用など)	木材の活用分野の拡充件数 2023年0件→2026年3件
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	人材育成と専門性の向上(設計施工管理技士など資格取得支援)	設計施工管理技士数 2023年3人→2026年4人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

国産材の有効活用を推進していくために、顧客、設計業者、森林管理者、行政等との連携、信頼関係をさらに深めるとともに、社員のモチベーションを高めるため、情報共有と職場環境改善に引き続き取り組んでいく。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	国産材の利用率の向上(BP材、TKS構法のさらなる普及)	国産材の利用率 2020年50%→2023年90%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	できるだけ国産材利用に取り組んだこと、ウッドショックで外材の入荷が不安定で値段も上昇したことも結果的に国産材利用率の向上につながった。	2023年90%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	木材の活用分野の拡充(国土保全、防災等:砂防、治山事業での活用など)	木材の活用分野の拡充件数 2020年0件→2023年3件
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	木の活用分野拡充についての広報宣伝が不足したこと、既存の納入業者等もありませんなかな新規参入の余地がなかったこと等による。	2023年0件
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	人材育成と専門性の向上(設計施工管理技士など資格取得支援)	設計施工管理技士数 2020年2人→2023年3人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	社員全体の高齢化でなかなか厳しい状況にあるが、人材育成と専門性の向上は重要であり、新規採用による社員の若返り、有資格者の採用など引き続き取り組んでいく。	2023年3人

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」を**そのまま転記してください。**

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。**指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。**

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**